

塩竈ではたらく。  
地域のおしごと体験事業「がまっこ商店街」



11月12日、本町や海岸通周辺の店舗で「がまっこ商店街」が開催され、市内の小学生がおしごと体験をしました。

店主の皆さんに仕事を教えてもらう真剣な姿、「いらっしやいませ！」と元氣溢れる声に惹かれ多くの方が足を運んでいました。職場体験の報酬として受け取ったオリジナル通貨で「今度はあの店に行こう」「これ欲しい」と買い物をする姿もいきいきと楽しそうでした。

「お菓子くれないとアートにしちゃうぞ」  
仮装行列で本町通りの商店街を練り歩き



10月22日に「ART or TREAT」仮装で菓子めぐり〜が杉村惇美術館主催で行われました。幼稚園児や小学生、その保護者が杉村惇作品や月刊漫画「ガロ」、ムンクの叫びなどのモチーフに化けました。「ART or TREAT」息を合わせて叫ぶと商店街の店主たちは「びっくり!」「お菓子あげるからやめてー」と言いながら微笑み、お菓子をプレゼント。もらった子どもたちは「いっぱいもらって。美味しそうだから見てみて」と自慢げに話していました。

## まちの未来を担う主役たち

子どもたちの活躍が光るイベントが開催されました。

地域防災を担えるように

日本赤十字社宮城県支部青少年赤十字研究協力校実践発表会



11月5日の「津波防災の日」に先駆け、4日、第二中学校の生徒たちによる、青少年赤十字研究協力校実践発表会が塩釜ガス体育館で開催されました。

一年生は道徳を通して防災を学び、グループワークで防災の主役は何かを考えました。二年生は、グループで地図を読み、避難経路を考え発表しました。三年生によるパネルディスカッションでは、発表前に「緊張するね」「もう一回練習しよう」という声も聞こえましたが防災訓練などで学んだことや制作したものを堂々と発表し、防災への意識を高めました。

互いを認め合うことと思いやりの心。

「青少年育成事業」で小学生が課題に挑戦

「青少年育成事業」(公益社団法人塩釜青年会議所主催)が10月4日に月見ヶ丘小学校で、27日に第一小学校で開催。二・三年生を対象に自己肯定感の向上と思いやりの心を育む授業を行いました。

自分や友だちの得意なことを考え、一人ひとりの個性を認め合うことを学ぶ授業や障害物リレーを応用したアイデア走の体験授業で、グループで折紙、算数、なわとびや前転などの種目にリレー形式で挑戦しました。速さを競わず最後までやり遂げることを目的に互いに応援しながら課題に挑戦しました。